

食品に関するリスクコミュニケーションの国外調査委託

(調査委託提案書の内容を一部抜粋)

1. 本調査の意義

我が国において、食品に関するリスクコミュニケーションに関心が高まる状況において、厚生労働省 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会乳肉水産食品・毒性合同部会が、平成 15 年 6 月に発表した「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」において、その対象を「妊娠している方又はその可能性のある方」としているにもかかわらず、対象以外の消費者が魚介類の摂食を控える事態が生じた。これは我が国においてリスクコミュニケーションが未成熟であることを物語っている。

本調査は、食品に関するリスクコミュニケーションの具体的な方策について、「水銀を含有する魚介類等の摂食」に関するリスクコミュニケーションに焦点を当て、北米や欧州、豪州における具体的な取り組み事例を調査し、今後、東京都をはじめとする我が国の行政が対応すべき食品のリスクコミュニケーションの具体的な方策の検討に資することを目的とする。

2. 海外の調査方法

イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア・ニュージーランド、ノルウェイの 6 ヶ国について調査（現地調査、インターネット検索、関連機関へのメール・書簡での問い合わせ）を行う。

3. 海外の調査対象機関

調査対象機関は、以下の通りである。

- ①リスク管理機関（国）
- ②リスク管理機関（自治体）
- ③関連する公共／専門機関
- ④NPO／消費者団体
- ⑤業界団体（食品&水産物流通）
- ⑥メディア（各国テレビ、新聞）
- ⑦専門家（リスクコミュニケーション研究者など）他

4. 具体的な調査内容

具体的な調査内容は以下の通りである。

- ①リスクコミュニケーションの目的
 - 水銀による魚介類汚染対策
 - その他の食品安全対策（BSE、GM食品など）

②リスク管理機関の組織・体制

機関設立時期・経緯・根拠法、組織形態、メンバー構成、
他の専門組織・行政組織などとの関連・情報の流れを分析

③リスクコミュニケーション組織

担当組織、構成メンバー（人数、専門領域）

④消費者向け食品安全情報の作成・伝達方法

リスクメッセージの内容分析（対象魚類、加工食品の扱い、食習慣との関連など）
発表形式、広報ルート・チャネル（インターネット、放送、冊子、説明会など）
消費者のセグメント化（妊産婦、幼児、釣愛好家、特定地域居住者、一般消費者）と
固有ルート（妊婦一産科病院、釣愛好家―釣雑誌経由など）と各情報内容
Q&Aの内容・作成方法（考え方、担当者）、消費者からの質問対応の方法
具体的行動指針の内容（魚摂食ガイドライン、調理法など）

⑤供給者（食品&水産物流通業界）向け食品安全情報の作成・伝達方法

同上

⑥食品安全情報公表後の対応

消費者からの質問への対応・フィードバック、安全情報の更新
消費者の受け止め方・反応

⑦リスクコミュニケーションの課題

各国の食文化（特に魚食）の実態（栄養統計調査などの分析）
関連する他の問題との関係（水域環境汚染、BSE対応、地域格差など）

⑧マスコミの報道分析

新聞、テレビなどの報道記事分析

⑨消費者・供給者などの反応

関連する消費者団体・供給者の受け止め方（パニックの有無と原因分析）
具体的行動・対策の分析、主な情報源（外部機関 v s 独自の情報）
消費者団体・供給者からの独自のリスクコミュニケーション内容分析

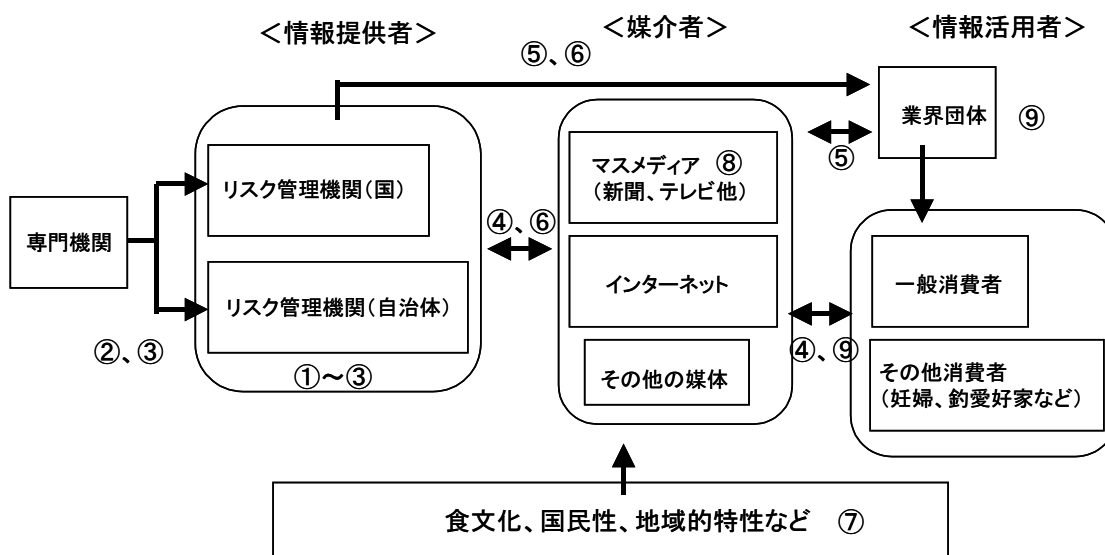
上記に加えて、諸外国と比較検討できるように、我が国の状況について同様の調査を行う。

以下に、調査項目と対応する調査機関の関連を示す。

調査項目	調査対象	リスク管理機関	関連する専門機関	消費者団体	業界団体	メディア	専門家他
①リスクコミュニケーションの目的		○					△
②リスク管理機関の組織・構成		○					
③リスクコミュニケーション組織		○					
④消費者向け安全情報の作成・伝達		○	○				○
⑤供給者向け安全情報の作成・伝達		○	○		○		
⑥安全情報公表後の対応		○	○			○	○
⑦リスクコミュニケーションの課題		○	○	○	△	△	○
⑧マスコミの報道分析						○	△
⑨消費者・供給者の反応		○		○	○	○	

次ページに、リスクコミュニケーションの流れの中で、対象機関と調査項目の関係を図示する。

リスクコミュニケーションの流れ：関係者に対応する調査項目(①～⑨)



5. スケジュール

	12月	1月	2月	3月
○海外調査				
・ インタビュー対象候補リストアップ	↔			
・ インタビュー対象選定	↔			
・ アポイントメント作業		↔		
・ 現地調査			↔	
・ インタビュー調査まとめ				↔
○報告書作成				↔